

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ボムリエ アルファ			
○保護者評価実施期間	R7年 1月 25日 ~ R7年 2月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 30名	(回答者数) 30名		
○従業者評価実施期間	R7年 1月 25日 ~ R7年 2月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 9名	(回答者数) 9名		
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 1日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・学校や関係機関のやりとりを通じて児童の動向を把握し、家庭との連携を取っている。 ・児童の発達段階に合わせた支援プログラム（チャレンジ）を行っている。	・申し送りを必ず行い、児童の様子を共有している。 ・保護者からの児童に対する相談に対して、複数の職員で話し合いを行い、アドバイスを行っている。 ・電話連絡や、送りの際に、こまめに児童の様子を伝えるようにしている。	・モニタリングや個別支援計画の為の保護者面談を複数の職員で行い、相談しやすい環境を作っている。
2	・善悪の判断や児童の自立を促す取り組みや意識付けを行っている。 ・児童同士の関係性を深め、自己決定を促している。	・長期休みや滞在時間の長い土曜日は、多彩なイベントや外出を通じて児童同士のコミュニケーションを図ろうとしている。 ・日々の利用時において、積極的に児童間の関わりを持つようしている。	・職員が共感的に関わり、児童間の橋渡し的な役割の強化を行っている。
3	・多様な特性を持ち、年齢層が幅広く、引きこもりや不登校児童の対応をしている。	・日頃から保護者と支援の方向性を話し合って、同じ視点で支援にあたっている。 ・自治体と連携を取って情報共有等のケース会議を行っている。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との交流が少なく、イベント等で地域住民を招待する機会がない。	・保護者が望んでおらず、開催に対して慎重にならざるを得ない。	・個人情報や人権をしっかりと守った上で、保護者の意見を聞きながら検討する。
2	・障害児サービスから障害者サービスへ移行する児童が少ない。	・中高、支援学校児童の移行対象がない。	・他事業所との連携やセミナーを通じて、18歳以上の移行支援が行える環境づくりを行う。
3			